

広島県経済の動向

2021年9月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
	1 国内経済の動向	
	2 広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
	1 鉄鋼	
	2 自動車	
	3 造船	
	4 一般機械	
	5 電気機械	
III	中小企業の動向	5
	1 概況	
	2 景況感・景況感の変化	
	3 前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
	1 概況	
	2 業種別	
	3 原因別	
	4 今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
	1 県内の有効求人・求職の動向	
	2 県内の新規求人・求職の動向	
	3 県内の人員整理の状況	
	4 完全失業率の状況	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。		
輸出	緩やかな増加が続いている。		
生産	持ち直している。		
設備投資	持ち直している。		
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる	
個人消費	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。		サービス支出を中心に弱い動きとなっている
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。		感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している

(2) 先行き

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年8月26日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	5月	6月	7月
基調判断	持ち直しのペースが鈍化している。		下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
輸出	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
生産	持ち直しのペースが鈍化している。		自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある。
設備投資	下げ止まりつつある。	下げ止まっている。	
雇用情勢	弱い動きがみられている。		
個人消費	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しが一服している。		サービス消費を中心に下押し圧力が続いているが、持ち直しが一服している。
住宅投資	下げ止まっている。		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症が県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年8月2日公表）】
9月については公表無し。

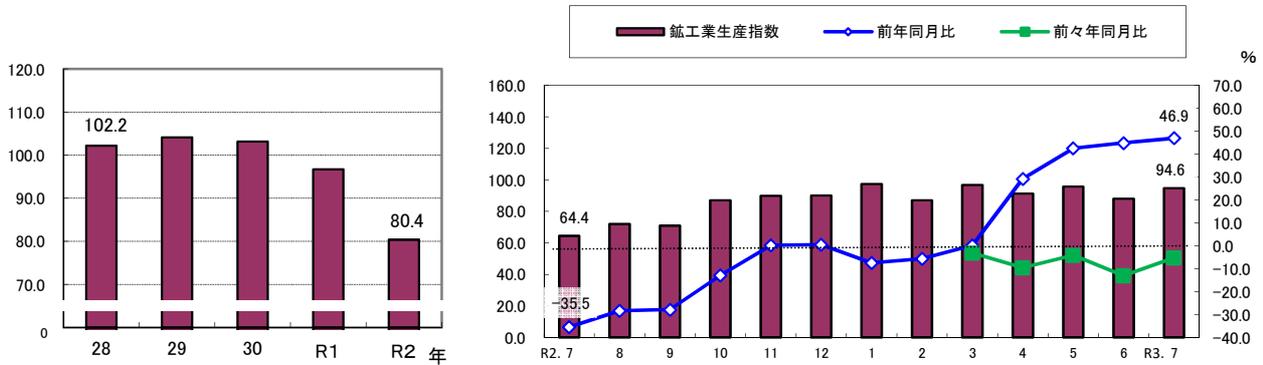
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和3年7月)

7月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は94.6で, 前年同月比で46.9%増加, 前々年同月比5.3%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

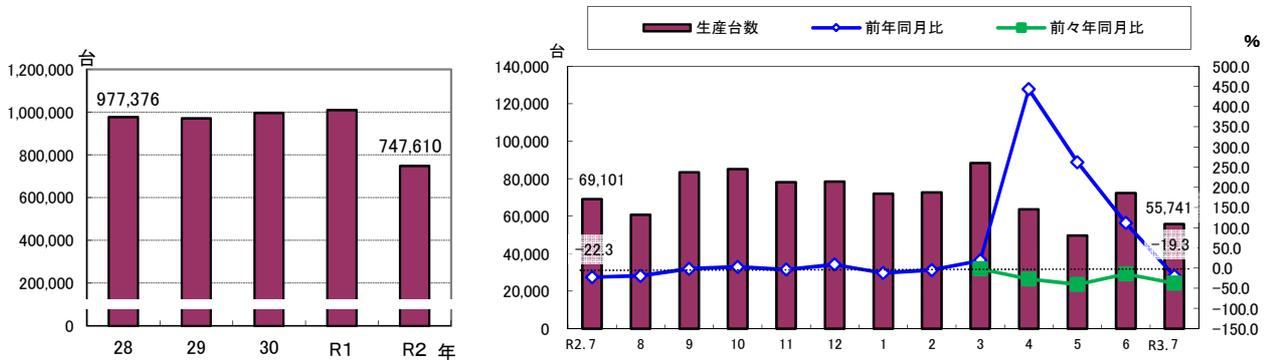


2 自動車(令和3年7月)

7月の国内生産台数は55,741台で, 前年同月比で19.3%減少, 前々年同月比37.4%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

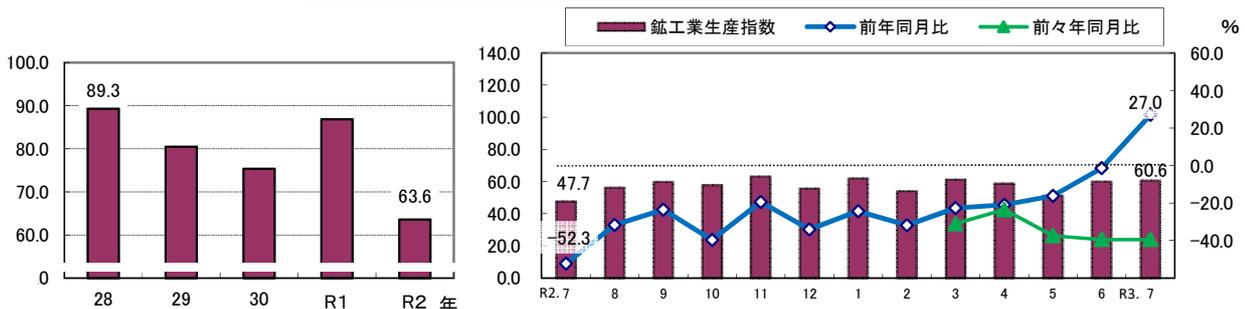


3 造船(令和3年7月)

7月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は60.6で, 前年同月比で27.0%増加, 前々年同月比39.5%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

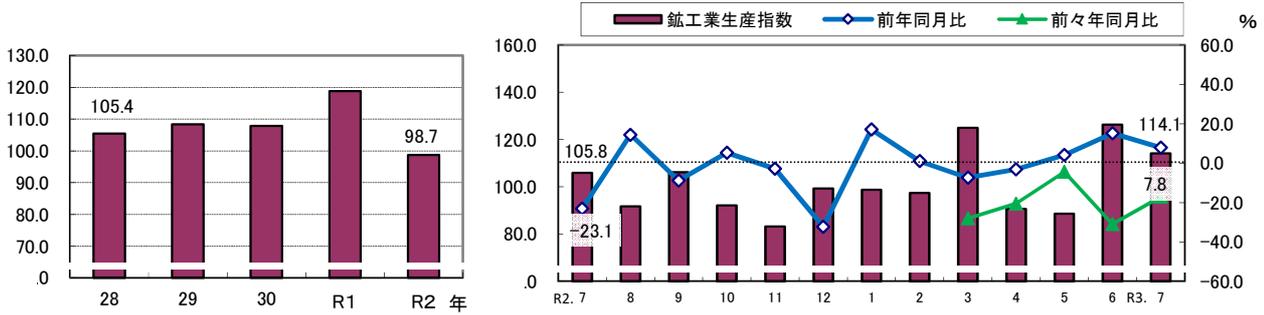


4 一般機械(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は114.1で, 前年同月比で7.8%増加, 前々年同月比17.1%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

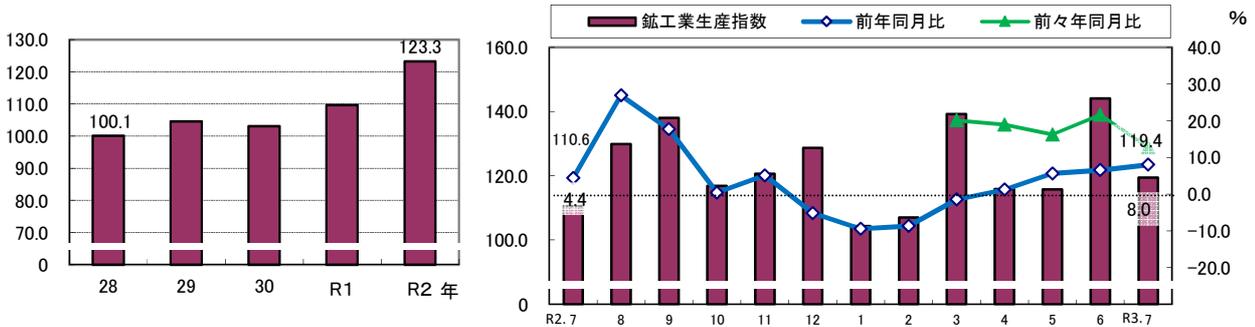


5 電気機械(令和3年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は119.4で, 前年同月比で8.0%増加, 前々年同月比12.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



IV 中小企業の動向(令和3年7月)

【広島県中小企業団体中央会】

【1】概況

全体的には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、景気の回復傾向が見られる。しかし、ウッドショックの影響や原材料の価格高騰、供給不安により低調な業種もあり、様々な業種において先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比4.8%減少と10ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同8.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなる一方、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比9.6%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比7.3%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比10.7%増加となった。回復傾向にあるものの、全国同様コロナ禍での低水準からの回復であり、4月から本格化したウッドショックの影響で木材製品・国産材原木の高騰や品薄が長期化している。

【2】景況感・景況感の変化

業種	6月の景況感	7月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	普通
土石製品	やや悪い	やや悪い
鉄鋼(鋳物)	悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	6月の景況感	7月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	普通
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	6月	7月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	3	5	2
やや悪い	13	12	▲1
悪い	3	2	▲1

(3) 前月(6月)から変化のあった主な業種

業種	6月の景況感	7月の景況感	変化の理由・状況
プラスチック製品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂価格の値上げ，一部の樹脂不足感など取り巻く環境はやや厳しさがある。 ・マツダの2ライン停止による受注減少。自動車関連の受注不透明感が継続している。 【広島県プラスチック工業会】
トラック輸送	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前の物流量には戻っていないが，オリンピック開会式前後の4連休により稼働日が少なく，夏場の飲料や医療関連商品，テレワークの普及による家具等の配送が増加したため，大型ウイング車が不足し運賃も上昇してきた。 ・世界的なコンテナ不足の影響で，トレーラーの稼働は減少している。 ・OPECプラスの減産や投機により燃料価格が上昇しており，収益は悪化している。 【広島輸送ターミナル協同組合】
鉄鋼	悪い	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・会社（鉄鋼二次製品）によっては短納期で普段の何十倍もの注文が入っているところもある。8月中での納品などスポット的な注文が多い。 【軀鉄鋼協同組合連合会】

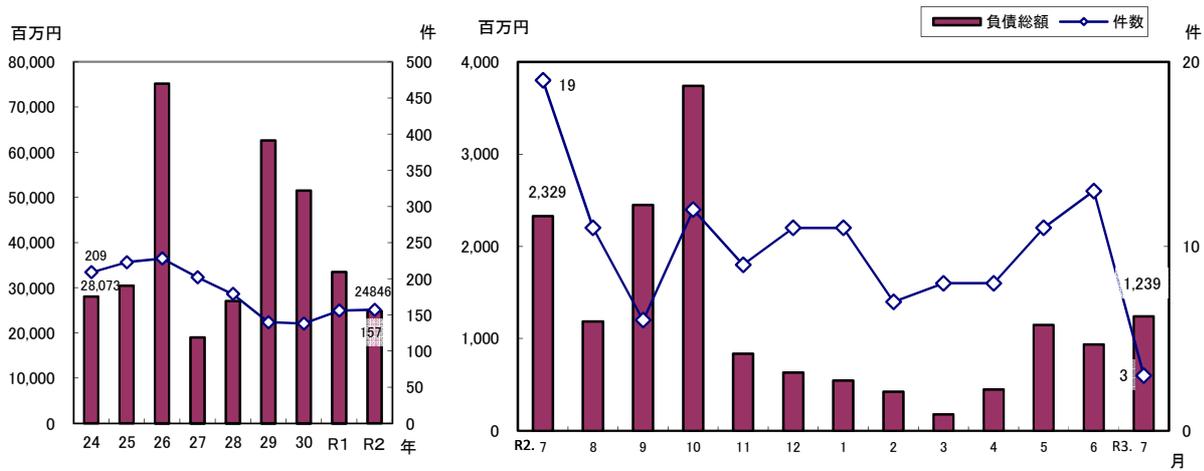
V 企業倒産状況(令和3年7月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が3件、総額12億3,900万円であった。
- ・前月比で件数は10件減少し、負債総額は3億500万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は16件減少し、負債総額は10億9,000万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)は1件発生した。

区 分	令和3年5月	令和3年6月	令和3年7月
件 数 (前年同月比)	11件 (57.1%増)	13件 (27.8%減)	3件 (84.2%減)
負債総額 (前年同月比)	1,147百万円 (60.1%減)	934百万円 (8.9%減)	1,239百万円 (46.8%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業2件、卸・小売・飲食業が1件、となった。負債総額では、建設業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が2件、シワ寄せが1件であった。

4 今後の見通し

2021年7月度の倒産件数、負債総額ともに前年同月比減となり、各種コロナ支援策の効果や各企業の様々な取り組みなどから2020年夏以降、倒産は抑制された状態が続いている。このような中、新型コロナウイルスによる経済活動の変化は多方面に波及し、同関連の県内倒産は7月に2件発生して、44件(準備中、負債総額1,000万円未満を除く)となった。

第4波による新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向となり、広島県でも6月20日をもって緊急事態宣言は解除された。しかし、7月中旬以降、首都圏中心に新型コロナウイルス新規感染者数は急増し、広島県内でも7月下旬から増加傾向となり、「まん延防止等重点措置」の適用を政府に要請する事態となっている。

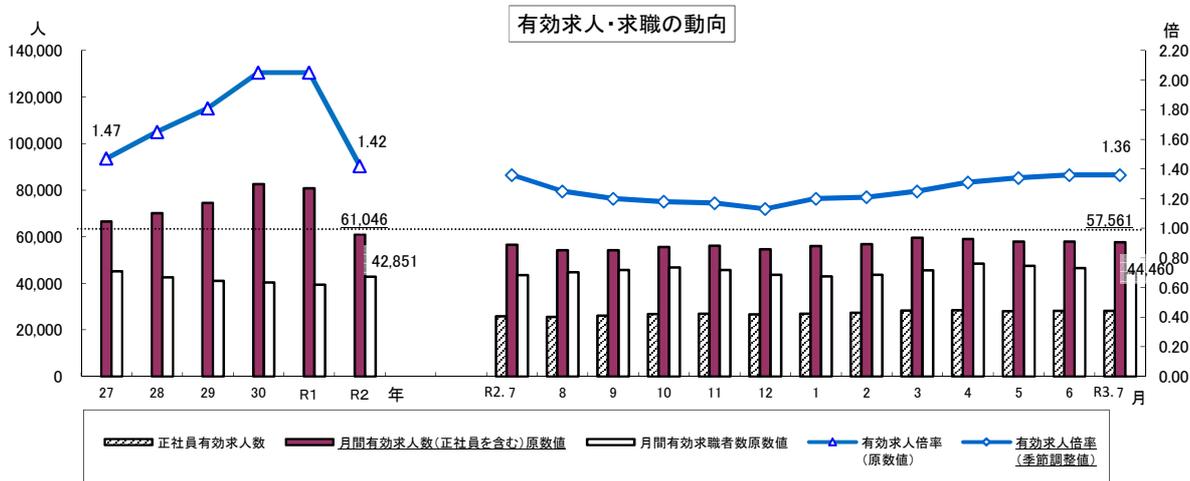
一方でワクチン接種は進んでいるが、効果を感じるには至っておらず、未だ収束時期は不透明であり、全国的な感染拡大の第5波によって経済活動が停滞することが予測される。感染状態によって規制の強化と緩和が繰り返され、経済活動も規制に左右されている。当初から影響を受けている飲食業、観光業、宿泊業を中心に企業活動へのダメージが深刻化する先や、経営者の事業意欲の減退も懸念され、財務基盤が脆弱な企業の息切れや新型コロナウイルス関連倒産が押し上げる形で、年末に向けて倒産件数は増勢に転じる可能性が高まっている。

VI 最近の雇用失業情勢(令和3年7月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年5月	令和3年6月	令和3年7月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.34倍 (+ 0.03ポイント)	1.36倍 (+ 0.02ポイント)	1.36倍 (+ 0.00ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.02倍 (+ 0.00ポイント)	1.05倍 (+ 0.08ポイント)	1.07倍 (+ 0.10ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

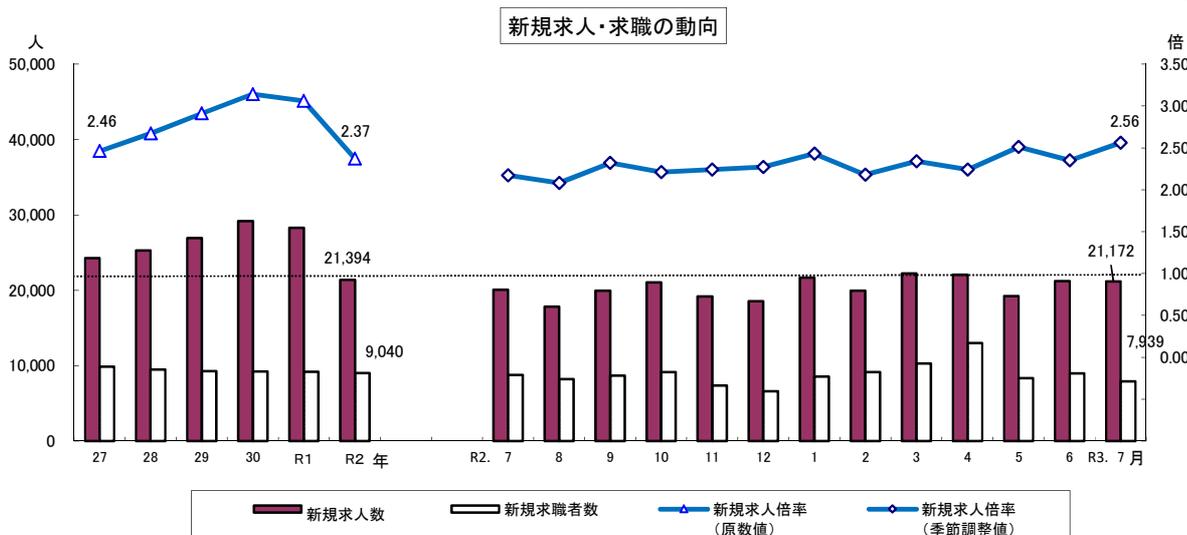
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)(令和3年度)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年5月	令和3年6月	令和3年7月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.51倍 (+ 0.27ポイント)	2.35倍 (▲ 0.16ポイント)	2.56倍 (+ 0.21ポイント)

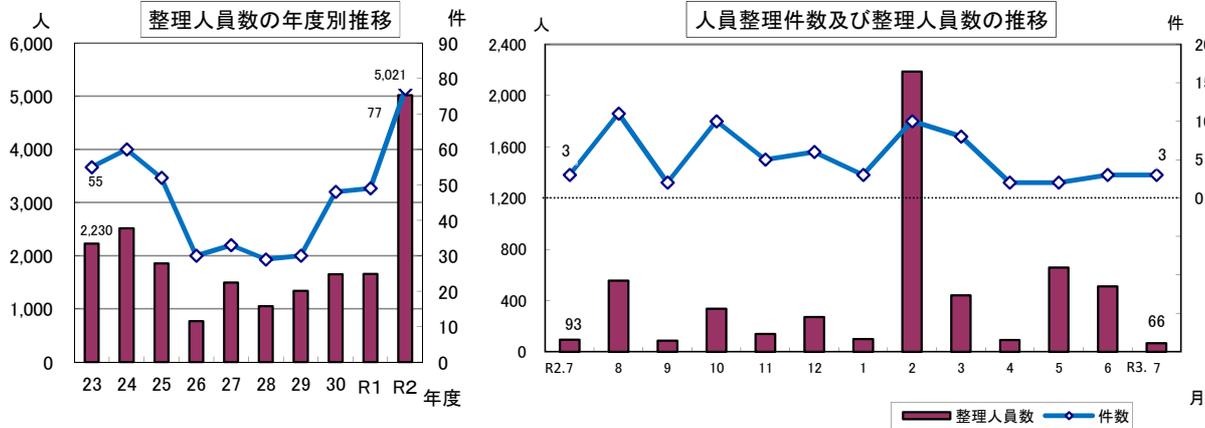
【広島労働局】



(注) 令和2年1月から令和2年12月の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)
令和3年1月からは原数値となっている。

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年5月	令和3年6月	令和3年7月
件数 (前年同月比)	2件 (▲ 4件)	3件 (▲ 1件)	3件 (± 0件)
整理人員 (前年同月比)	657人 (+ 294人)	509 (+ 240人)	66人 (▲ 27人)

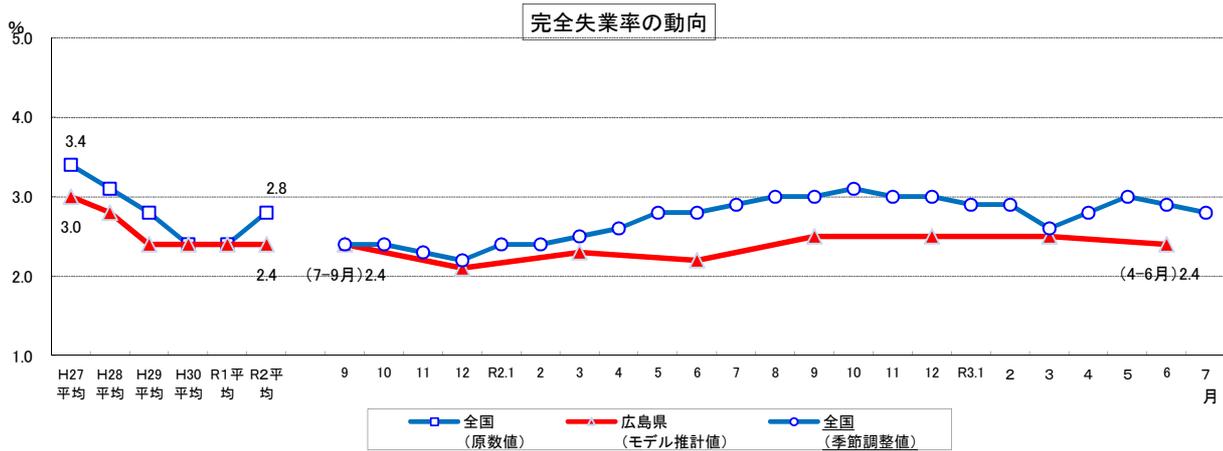


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年5月	令和3年6月	令和3年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	211万人 (+13万人)	206万人 (+11万人)	191万人 (▲6万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	3.0% (+ 0.2%)	2.9% (▲ 0.1%)	2.8% (▲ 0.1%)

区 分	令和2年	令和3年	
	10~12月期平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前期比)	2.5% (+ 0.3%)	2.5% (+ 0.2%)	2.4% (+ 0.0%)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。